

令和元年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	松本砂防工事安全対策研究発表会	事業経緯	継 続	実施体制	後 援	担当所属	松本支所
事業名 (大項目)	調査研究及び研究助成事業	分類名 (中項目)	技術開発支援事業		事業区分	技術開発、研究開発	

1. 事業目的

平成8年12月6日に発生し14名の尊い命が犠牲となった蒲原沢土石流災害を教訓に、この災害を風化させないという決意のもと、砂防工事現場で取り組んだ安全対策について発表・顕彰し情報共有を進めるとともに、安全対策技術の向上並びに他の現場への波及と技術者間の技術交流を深めることを目的とする。

2. 事業実施体制

主 催：松本砂防事務所工事安全対策協議会
 後 援：厚生労働省労働基準監督署（松本・大町・上越）、
 林野庁森林管理署（中信・上越）、長野県、新潟県、
 （一社）長野県建設業協会（松築・安曇野・大北支部）、
 （一社）新潟県建設業協会（糸魚川支部）、
 建設業労働災害防止協会（長野県・新潟県支部）、
 砂防施工管理研究会、（一社）北陸地域づくり協会

3. 事業実施概要

日 時：令和2年2月5（水） 13:30～17:00
 場 所：大北農協会館「アプロード」（大町市内）
 プログラム：

- ▶ 論文発表7編（応募31編）及び質疑
 （松本砂防事務所、長野県・新潟県発注工事における安全対策）
- ▶ 講演「令和元年10月台風19号出水について」
 田部 成幸（北陸地方整備局 河川部長）
- ▶ ポスターセッション 7編
- ▶ 表彰（優秀者は全国の発表会へ参加）
 - ・最優秀賞1名、優秀賞2名、入選4名
 - ・優秀賞（ポスターセッション）3名

参加者：247名

4. 事業実施による効果（評価・貢献度等）

本事業は平成10年から毎年実施され今回で22回目、応募論文総数は725編となる。この間、論文募集対象は国発注工事のみならず県発注工事へも広がり、多くの砂防技術者の安全施工技術の習得と情報共有の場として定着している。毎回200名を超える参加者があり、論文発表に加え、現場での取り組みのポスターセッションも行われ、参加者は自らの現場への当該技術の応用の適否を確認している。また、安全施工に関する発表会は全国規模でも行われ、技術の普及に大きく役立っているほか、本発表会は技術者のCPDS対象に認定されており、技術研鑽の場として広く認められている。



論文発表



ポスターセッション



表 彰